

研究計画調書作成に あたっての留意点

研究支援部研究企画推進課

機関番号	研究種目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	0	0000	0	0000

平成25年度（2013年度）基盤研究（C）（一般）研究計画調書

平成XX年XX月XX日
1版

新規

研究種目	基盤研究(C)	審査区分	一般				
分野							
分科							
細目							
細目表 キーワード							
細目表以外の キーワード	細目表キーワード以外でより適切なキーワードがあれば、1つを限度として記入できる。						
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関	自動表示されるので、内容を確認						
部局				「学内共同利用施設等」→ 所属のセンター名等へ書き換える。			
職				「その他」「研究員」→ 実際の職名へ書き換える。			
研究課題名	40字以内。						
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	平成25年度						
	平成26年度						
	平成27年度						
	平成28年度						
	平成29年度						
総計							
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	応募しない						

研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職	現在の専門 学位 役割分担	平成25年度 研究経費 (千円)	エフオ ート (%)
研究代表者	00000000 (00)	(00000) (000) (00)		1,500	
研究分担者	00000000 (00)	(00000) (000) (00)		500	
連携研究者	00000000 (00)	(00000) (000) (00)		-	-
合計	00 名		研究経費合計	2,000	

学内、学外ともに研究分担者の平成25年度経費は必須。
但し、基盤研究(C)・挑戦的萌芽研究で研究計画2年度目以降から参画予定の場合は、研究経費及びエフオートは「0」にする。

自動計算した額が前ページの25年度経費と一致させる。

研究目的

本欄には、研究の全体構想及びその中で本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領66頁参照）を参考にしてください。）

- ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的（概要） ※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

研究目的の概要について簡潔にまとめること。

破線の位置を変えないこと。
（下に広げないこと。）

研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成25年度の計画と平成26年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても必要に応じて記述してください。

なお、研究期間の途中で研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

研究計画・方法（概要） ※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

研究計画・方法の概要について簡潔にまとめること。

破線の位置を変えないこと。
（下に広げないこと。）

研究業績	
<p>本欄には、研究代表者及び研究分担者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年(暦年)毎に線を引いて区別(線は移動可)し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</p> <p>また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別(二重線は移動可)し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください(発表年毎に線を引く必要はありません)。</p>	
発表年 研究代表者・分担者氏名	<p>発表論文名・著書名 等 (例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。)</p> <p>(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入)しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。)</p>
2012 以降	<p>新潟 太郎</p> <p>1. 論文名 新潟太郎、○○○○、△△△△ (他8名、1番目) ××学会誌 9巻 査読有 51-58 (2012)</p> <p>五十嵐 一郎</p> <p>2. 論文名 □□□□、五十嵐一郎、●●●● (他5名、2番目) ◎◎学会誌 3巻 査読有 120-125 (2012)</p>
2011	<p>新潟 太郎 五十嵐 一郎</p> <p>3. 論文名 新潟太郎、五十嵐一郎、研究次郎 (他6名、1,2番目) ◇◇論文集 12巻 査読有 78-96 (2011)</p>
2010	
2009	
2008	
研究 次郎	<p>1. 論文名 研究次郎、△△△△、□□□□ (他7名、1番目) ■ ■ ジャーナル 20巻 査読無 41-50 (2012)</p>

研究代表者・分担者欄全体での通し番号を付す。

「研究代表者(二重下線)」、
「研究分担者(一重下線)」、
「連携研究者(点線)」

連携研究者欄内での通し番号を付す。

連携研究者欄は二重線で区別。

研究代表者・分担者の業績が次頁以降にわたる場合は、その後に連携研究者の業績記入欄を設ける。

これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、**本研究の立案に生かされているもの**を選定し、**科研費とそれ以外の研究費に分けて**、次の点に留意し記述してください。

- ① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。（平成23年度又は平成24年度の科研費の研究進捗評価結果がある場合には、基盤C（一般）－9「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄に記述してください。）
- ② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

研究分担者として参画したものについても記述できる。
また、平成19年度以前の科学研究費補助金において、研究費の配分を受けない研究分担者として参画したものについても記述可。

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領5頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報に伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

「研究計画・方法(概要)」欄に記述した内容と照らして記述すること。
該当しない場合は「該当なし」と入れること。

基盤C（一般）－11
(金額単位：千円)

設備備品費の明細			消耗品費の明細	
〔記入に当たっては、基盤研究（C）（一般）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。〕			〔記入に当たっては、基盤研究（C）（一般）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。〕	
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	金額	品名	金額
25	〇〇システム (△△社製 型番 00-00) 一式 (内訳) ・〇×装置 ・□△〇器 ・モニタ用 PC 新潟大学	3,000	〇〇〇〇	500
			〇△〇△	80
			☆〇☆〇	800
	計		3,000	計
26	△△式◇◇検出器 (仕様・・・) 1台 新潟大学	1,500	□〇□〇	300
			〇〇〇〇	500
	□□装置 (型番 A999) 3台×@900 新潟大学、★★大学		□□□□	10
			▽□△□	90
計	4,200	計	900	
27				

何をどれだけ購入するのか、
できるだけ具体的に記入。

年度毎に線を引いて区分。
また、年度ごとに合計金額を
記入。

基盤C（一般）－12
(金額単位：千円)

旅費等の明細 (記入に当たっては、基盤研究（C）（一般）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。)								
年度	国内旅費		外国旅費		人件費・謝金		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
25	打合せ 〇〇大学 2日間	70			▲▲実験補助 5人×8日	200	■●分析委託	1,500
	▲▲実験 ☆☆研究所 4日間	150						
	計	220			計	200	計	1,500
26	打合せ 〇〇大学 2日間×3回	210	学会発表 ロンドン 7日間	800				
	計	210	計	800				
27								

行き先、期間等、できるだけ
具体的に記入。

いずれかの年度において「設備備品費」、
「旅費」、「謝金等」のいずれかの費目が
研究経費の90%を超える場合及び「そ
その他」の費目で特に大きな割合を占める
経費がある場合は、当該経費の必要性
を「研究経費の妥当性・必要性」欄に記
述する。

研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本欄は、第2段審査（合議審査）において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、**本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載**していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域提案型）」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
- ④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	平成25年度の研究経費（期間全体の額） (千円)	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者(又は拠点リーダー等のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体(又はプログラム全体)の受入額を記入すること)
【本応募研究課題】 基盤研究(C)(一般) (H25~H27)	○○○○○	代表	1,500 (3,500)	25	(総額4,800千円)
基盤研究(A)(一般) (H25~H28)	△△△△△ (研究 三郎)	分担	500 (2,000)	5	×××××××××××××× ×××××××××××××× ×

連携研究者として参画するものは記入不要。

研究分担者等の場合、()書きで研究代表者等の氏名を記入。

研究分担者等の場合、平成25年度に受け入れる分担金額を記入し、研究期間全体で受け入れる分担金総額を()書きで記入。

研究代表者等の場合、平成25年度に受け入れる分担金を除いた金額を記入し、研究期間全体で受け入れる分担金を除いた総額を()書きで記入。

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）

(2) 受入予定の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	平成25年度の研究経費（期間全体の額） (千円)	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者(又は拠点リーダー等のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体(又はプログラム全体)の受入額を記入すること)
◎◎助成事業 (H23-H25) (●●●機構)	○△○△○	代表	1,000 (3,000)	10	×××××××××××××× ×××××××××××××× ×××××××
プロジェクト推進経費 (H24) (新潟大学内公募資金)	□□○○○	代表	3,000 (3,000)	15	×××××××××××××× ×××××××××××××× ××××××××××

(3) その他の活動

上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。

合計 (上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計)				45	
				100	
				(%)	

学内提出期限

10月22日(月)

全研究種目・全手続き・全部局共通